



慶應義塾大学SFC研究所  
X.SDG Lab.

資料2



# コロナの先の世界とSDGs

選択する未来2.0

慶應義塾大学大学院教授

蟹江憲史

# SDGs（2030年の常識）の特徴

1. 2030アジェンダのタイトルには「変革（Transforming Our World）」



Norichika Kanie and Frank Biermann eds., *Governing through Goals: Sustainable Development Goals as Governance Innovation* (MIT Press, 2017)

2. 「目標」からはじまる「目標ベースのガバナンス（governance through goals）」

- 野心レベルの提示からスタート→ バックキャストिंग
- 国連でルールを決めない→ ターゲット・ルール作りは国に依存、各主体が自由に実施（イノベーション）



3. 進捗の評価・レビューが唯一のメカニズム

- 指標による評価
- 4年に1度の「グローバル持続可能な報告書（GSDR）」による評価報告（日本ではSDGs白書）：蟹江は2023年版15人の独立科学者に



4. 総合的目標：17目標は一体で不可分

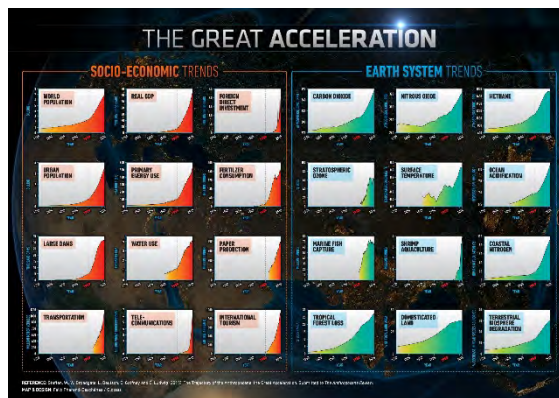


<https://nextpublishing.jp/book/11031.html>

# SDGsの3つの要素



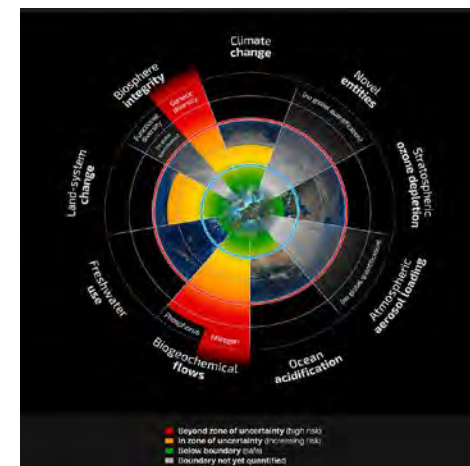
**経済**  
カネ



地球システムの限界

**環境**  
地球

SUSTAINABLE GOALS  
世界を繁栄するための17の目標



**社会**  
ヒト



新たな現象・動向への対応

# SDGsが直面する課題： System Transformation

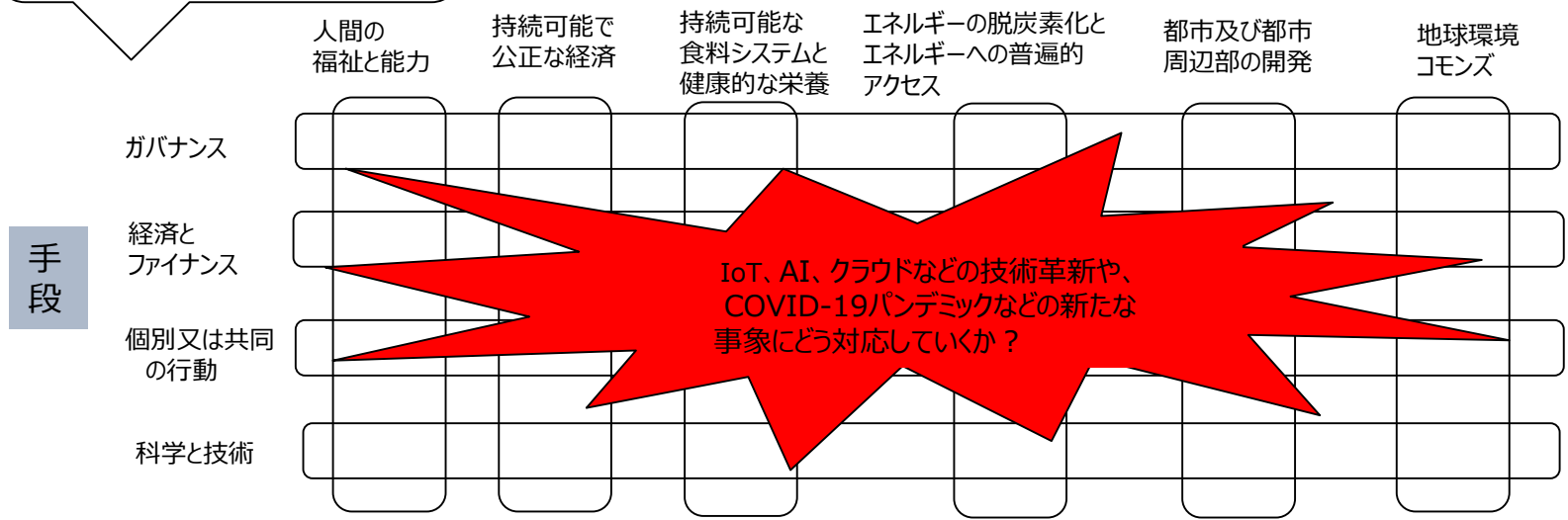
## グローバル持続可能な開発報告書2019

■ “2030アジェンダの真の変革の可能性は、コベネフィット（共便益）を最大化し、トレードオフを特定・管理する、体系的なアプローチを通じて実現できる。”

（グロ・ハーレム・ブルトラント、元ノルウェー首相、元WHO事務局長）

SDGs目標間のシナジーを最大化し、2030年以降に顕在化する課題に先立って取り組む上で、新たな科学・技術研究並びに既存の知識・技術を特定の地域的文脈に適応させることが求められている。

### 変革へのエントリーポイント



出所：表記レポートから引用、一部加筆